



2019年度 山岳医療救助機構 主催
アウトドア ファーストエイド 講習会
ベーシック・リフレッシュ・アドバンスコース
募集要項

申込はこちらから↓



sangakui.jp

山岳医療救助機構 Q

初版 2019年2月23日
2版 2019年3月7日
ICAR 加盟 山岳医療救助機構

1. 趣旨

登山など野外での活動において傷病者が発生した場合、現場での迅速な応急・救命処置を実施するためには、居合わせた人の技能が求められ、多くは非医療者に該当します。また、山岳や野外における応急・救命処置は、都市部における処置とは異なる側面を持ち、医療者であっても学ぶ機会は非常に限られています。野外環境の特性を踏まえた正しい知識と適切な応急・救命技術は、医療資格に関わらず身につけることが可能であり、その技能を身につけた救助要員の養成、登山者や野外活動者の自助能力の獲得が、救助隊員の安全と遭難防止のために望まれます。

近年、この分野の研究が進み、国際的な知見のアップデートの速度が上がってきています。本講習では、欧州や北米のみならず本邦からの新しい知見等に基づき、日本の病院医療、法規、救助事情とも整合性を持ったカリキュラムを構築しております。また、主催者は、各種救助要員、高校山岳部、大学生等の指導者向けテキスト等にも情報を提供しており、アウトドアに関わる予防と応急処置技能の標準化、および水準の維持・向上を目指した包括的なアウトドア医療教育の一つとして展開する講習会です。医療的な指導は、専門の知見を有する医師が行うことで、間違った知識の普及を防ぎ、正しい知識と技術の習得を広めるよう配慮されています。

2. 主催 ICAR(国際山岳救助協議会)加盟 山岳医療救助機構

3. 後援 一般社団法人 日本登山医学会

4. 期日、開催地、申込日程

カリキュラム	開催期日	開催場所	申込受付期間	受講連絡日	講習開始・最終解散時刻			
					受付	開始	解散 (※日帰り)	
ベーシック	A	5月31日(金)	オリンピックセンター(東京)	4月8日9時~5月7日24時	5月10日	9:00	9:20	19:30(※)
	BC-S	6月1日(土)-2日(日)	オリンピックセンター(東京)	4月8日9時~5月7日24時	5月10日	9:00	9:20	14:30
	A	7月5日(金)	国立登山研修所(富山)	5月7日9時~6月3日24時	6月6日	9:00	9:20	19:30(※)
	BC-S	7月6日(土)-7月7日(日)	国立登山研修所(富山)	5月7日9時~6月3日24時	6月6日	9:00	9:20	14:30
	A	1月31日(金)	国立登山研修所(富山)	12月2日9時~1月6日24時	1月9日	9:00	9:20	19:30(※)
	BC-W	2月1日(土)-2月2日(日)	国立登山研修所(富山)	12月2日9時~1月6日24時	1月9日	9:00	9:20	14:30
	A	2月14日(金)	長野県山岳総合センター(長野)	12月16日9時~1月14日24時	1月17日	9:00	9:20	19:30(※)
	BC-W	2月15日(土)-16日(日)	長野県山岳総合センター(長野)	12月16日9時~1月14日24時	1月17日	9:00	9:20	14:30
リフレッシュ	7月4日(木)	オリンピックセンター(東京)	5月13日9時~6月3日24時	6月7日	9:00	9:20	16:30	
	1月30日(木)	国立登山研修所(富山)	12月2日9時~1月6日24時	1月10日	9:00	9:20	16:30	
アドバンス	1月24日(金)-26日(日)	札幌手稲(北海道)	11月18日9時~12月16日24時	12月19日	12:00	13:00	14:00	

5. 開催所在地

- 国立オリンピック記念青少年総合センター：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1, 03-3469-2525

注意) 本会場の宿泊は空室があれば可能です。各自で手配が必要です。

- 独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所：〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦嶮寺ブナ坂6 076-482-1211
- 長野県山岳総合センター：〒398-0002 長野県大町市 8056-1 0261-22-2773
- 札幌手稲山中および手稲パラダイスヒュッテ：〒006-0000 札幌市手稲区金山172-1

6. コース構成

[1] コース概要

全コースにおける指導内容は、国際山岳連盟医療委員会 (UIAA Medcom)、国際山岳救助協議会医療部会 (ICAR Medcom)、ISMM (国際登山医学会)、WMS (Wilderness Medical Society) 等のガイドライン、コンセンサスに則り、随時最新の知見を更新し、日本の病院内医療、救助実態、法規と整合性を配慮した内容となっています。

講義と実技実習、屋外での実践トレーニングを組み合わせた構成です。

医療講師は専門の知見を有する医師で構成し直接実技指導を行います。

[2] コース種類

種類		目的・期間	対象者概要(12.の受講資格に詳述)
ベーシック コース	夏(S)	アウトドア活動で通年必要な知識と技術を習得する全5日コース	山岳・野外活動に関わっている人、本講習に興味のある人
	冬(W)		
リフレッシュコース		知識と技術のブラッシュアップを行う日帰りコース	ベーシック全修了認定を受けた者(注1)
アドバンスコース		実践能力を高める2.5日コース	① ベーシック全修了認定を受けた者(注1)、 ② 山岳経験(雪山経験が年間7日以上かつ3年以上、及び積雪期野営経験10回以上)、 の①②の2つを満たすこと

(注1) 一般社団法人日本登山医学会主催時の終了者を含む。

[3] 伝達講習の禁止

本講習は伝達目的では行っておりません。個人のスキルアップを目的として構成したカリキュラムです。

よって、以下の3つの理由により、伝達講習を禁止しております。①過去に、伝達講習により間違った知識や理解の普及が行われたこと、②本講習内容は知的財産であること、③受講生への公平性を損なうこと。

7. コースカリキュラム

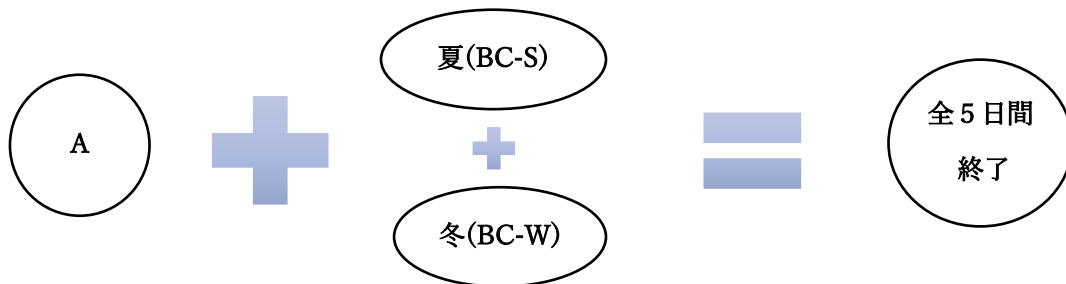
[1] ベーシック

(1) カリキュラム構成

カリキュラムはA, B, Cに分かれ、全カリキュラム40時間で構成されます。カリキュラムAは最も基本となる内容となり、全カリキュラムの初めに受講して下さい。カリキュラムBとCは夏コースと冬コースで異なる

る内容となり、Summer と Winter の頭文字を用い、夏コースではB-S、C-S、冬コースではB-W、C-W と称します。夏コース、冬コースどちらからの受講でも構いません。各コースは3日間ですが、カリキュラムAは初回時のみ必須のため、全カリキュラム(A、B-S、B-W、C-S、C-W)の履修は最短5日で終了します。希望者はAを2回(計6日間)受講することも可能です。その場合も受講料の割り増しはありませんが、A資料の再配布はありません。Aのみ受講終了した場合は、ベーシックAコース受講証明書を発行します。BCコースには、筆記試験と実技試験、総合技能評価が含まれ、夏または冬コース終了時に夏または冬課程の単位取得証明書を発行します。5日間全てを履修し、筆記試験、実技試験、総合技能評価の全ての基準を満たした方にアウトドアファーストエイド basic provider の修了証を授与します。修了後の更新制度はありません。

初回(夏または冬)コースで評価基準を満たさない項目がある方には、残り(冬または夏)のコースで再評価を行いません。夏冬2度のコースでも評価基準を満たさない場合は、合格まで無償で追加受講ができます。



(2) カリキュラム内容

	時間	講義	実技	評価・試験
A	10	山岳ファーストエイドの概念、法規、3SABCDE 初期評価(総論、各論)、ショック、外傷(総論・各論、止血)	3SABCDE、頸椎保護、心肺蘇生、体位・移動、外傷処置、固定	実技評価
B-S	9	内科疾患概論：糖尿病、喘息、アナフィラキシー 環境関連疾患概論：熱中症、高山病、落雷、熱傷、火山	屋内・屋外シナリオトレーニング	実技評価・ 筆記試験
B-W	9	内科疾患概論：心臓病、高血圧症、AED、脳卒中 環境関連疾患概論：低体温症、雪崩埋没、溺水、凍傷	屋内・屋外シナリオトレーニング	実技評価・ 筆記試験
C-S	6	A、B-S の知識と実技を実践的に生かす屋外シナリオトレーニング		総合技能評価
C-W	6	A、B-W の知識と実技を実践的に生かす屋外シナリオトレーニング		

(3) 受講の際の注意

- ① A は全カリキュラムの初めに受講して下さい。B,C は A の受講後に、受講できます。A 1 日のみの受講、ABC 連続での受講いずれも可能です。
- ② B,C はそれぞれ連続する 2 日間で受講が必要です。B,C どちらか 1 日のみの受講はできません。
- ③ 一般社団法人日本登山医学会主催時に受講開始した方で受講コースが残っている方の継続受講を受付けます。

[2] リフレッシュ

リフレッシュコースは、ベーシックコースで学んだ知識と技術の復習と研鑽を目的に、夏と冬の年2回開催します。夏開催ではA, BC-Sの復習、冬開催ではA, BC-Wの復習を行います。講義とシナリオトレーニングを行います。また、医学、救助技術、資機材は日進月歩であり、新しい知見を随時紹介します。受講後に、アウトドアファーストエイドリフレッシュ受講証明書を発行いたします。可否はありません。

[3] アドバンス

アドバンスコースは、積雪期に開催します。ベーシックコースの夏と冬で学んだ知識と技術を基礎に、季節を問わず実践できる高い技能の習得と向上を目的としています。ベーシックコースカリキュラムの十分な習熟と、豊富な山岳経験を前提として行います。実際の救助事例に基づいたトレーニングを行います。その結果として、当機構の求める基準をクリアすると、アドバンスコース修了認定証を授与します。基準に満たない場合にも、受講済証を発行いたします。基準に満たない場合は再受講可能ですが有料となります。

8. 受講に関わる費用

[1] 受講料

ベーシック

[社会人]

3日間 (A, B, C) 受講時	36,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)
2日間 (B, C) 受講時	24,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)
1日間 (A) 受講時	12,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)

[学生]

3日間 (A, B, C) 受講時	1名で参加する場合：	一人 21,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)
	2名で参加する場合：	一人 18,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)
	3名以上で参加する場合：	一人 15,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)
2日間 (B, C) 受講時	1名で参加する場合：	一人 14,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)
	2名で参加する場合：	一人 12,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)
	3名以上で参加する場合：	一人 10,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)
1日間 (A) 受講時	1名で参加する場合：	一人 7,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)
	2名で参加する場合：	一人 6,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)
	3名以上で参加する場合：	一人 5,000 円 (税別、資料代・傷害保険料含む)

※ 学生料金の適用は受講年度に26歳以下とします。

※ 定員制のため、一度にお受けできる学生の数には制限の出る場合があります。

※ カリキュラムAは1回目で評価基準を満たしていれば2回の受講は不要だが、希望者は無料で2回目の受講が可能。

※ ベーシック不合格による追加受講は無料 (合格まで責任もって指導致します)

リフレッシュ

5,000 円（税別、傷害保険料含む）

アドバンス

36,000 円（税別、資料代・傷害保険料含む）

[2] 宿泊及び宿泊費・食費

ベーシックは通いでの受講可。アドバンスの通い受講不可。

宿泊費・食費は、当日個人精算となり、受講料金に含まれません。

参考：国立登山研修所、長野県山岳総合センター開催時：3日間受講の場合1万円前後。

国立オリンピック記念青少年総合センターでの宿泊は空室があれば可能。各自での手配が必要。
詳細とその他の開催地については、申込時に確認してください。

9. 保険

受講生および講師とスタッフを加入対象者として、公益財団法人スポーツ安全保険の文化活動区分に事務局で加入します。保険費用は受講料に含まれます。講習中の私事外出時の事故は保険適応外です。

10. 担当・講師

講習会開催責任者・責任医師 大城和恵

講習会講師 国立登山研修所医療班講師 水腰英四郎

UIAA/ICAR/ISMM 認定国際山岳医 佐藤真司, 笹尾 玄他

医学博士 川本雅司, 吉田和夫, 濱田 拓他

他

11. 試験と評価

[1] ベーシック

(1) 筆記試験

カリキュラム B 終了後に、筆記試験全 20 問、30 分の○×試験を行ないます。70 点以上が合格です。試験終了後問題解説と結果発表を致します。65 点以下の受講生には、3 日目の朝に再試験を行います。不合格者は、次回コースで再々試験を受けることができます。最終合格発表は、全講習終了時となります。

(2) 実技評価

カリキュラム A, B の講習中に、実技評価を行ないます。実技の習得目標に則り、評価を行ないます。70 点以上が合格です。基準に満たない受講生にはそのポイントを解説します。筆記試験後に実技補講を行ない、再度評価します。評価結果の発表は、全講習終了時となります。

(3) 技能評価

カリキュラムCのシナリオトレーニングでは、知識と実技を実践的に生かす技能評価を行います。基準に満たない場合、反復して行い再評価します。筆記試験で不合格者や実技が不十分であった受講生も、ここで技能評価が高ければ最終評価に反映されます。逆に、実技と筆記試験が高得点でも、技能評価が基準を満たさないと、実践で生かせないということになり最終評価が低くなります。結果発表は、全講習終了時に行いません。

(4) 修了認定

Aのみ受講終了した場合は、受講証明書を発行します。筆記試験、実技試験、総合技能評価の全ての基準を満たした者は、各コース(A, B-S, C-SまたはA, B-W, C-W)の修了認定を受けます。カリキュラム構成に示したとおり、A, B-S, B-W, C-S, C-Wのすべての評価基準を満たすとbasic provider認定となります。夏(あるいは冬)コースで評価基準を満たさなかった場合、Aカリキュラムについては冬(あるいは夏)コースで再評価を受けることも可能です。夏冬コースともに各評価基準に満たない場合、担当医師が合格までサポートします。

[2] アドバンス

(1) 筆記試験

開始時にベーシック講習の内容から筆記〇×試験を行います。試験内容は最新の知見まで盛り込みますので、受講年度以降に更新されている内容を含む場合があります。2日目終了時に再度筆記〇×試験を行います。開始時試験60点以上、2日目試験80点以上の両方を満たすことが合格には必要です。

(2) 実技・技能評価

繰り返しトレーニングを行いながら、評価を行います。医療的な適切性、現場の環境に応じた判断、的確な統率力を評価します。

(3) 修了認定

基準を満たした場合に合格となり、修了認定を受けます。

12. 受講資格

以下の[1] + [2]を満たすこと。

[1] すべてのコースにおいて必要な要件:

- (1) 伝達講習の禁止 (6. [3]の項を十分に理解し遵守できる人)
- (2) 持病や体調が管理できていること

野外での活動を行うこと、グループ単位での実技を行うこと、開催場所によっては近隣に病院がないことから、持病や体調管理ができていない場合、体調不良時、妊娠中、感染性疾患罹患の疑い(インフルエンザなど)等の場合には、申込後でも主催者側の判断で、受講をご遠慮戴くことがあります(この場合はキャンセル料金発生の対象となります)。

[2] コース別受講資格

[ベーシック] : 山岳・野外活動に関わっている人、本講習に興味のある人

[リフレッシュ] : ベーシック全修了認定を受けた者 (注1)。

[アドバンス] : ①ベーシック全修了認定を受けた者 (注1) かつ

②山岳経験 (雪山経験が年間7日以上かつ3年以上、及び積雪期野営経験10回以上)

①②の2つを満たすこと

(注1) : 一般社団法人日本登山医学会主催時の終了者を含む

13. 定員と催行条件

ベーシック 24名程度 (最低催行人数12名)

リフレッシュ 24名程度 (最低催行人数12名)

アドバンス 8名程度 (最低催行人数4名)

※ ベーシック及びアドバンスコースの応募が多数の場合は、協議のうえ参加者を決定し、4.の項の受講連絡日をめぐりに受講可否を連絡します。(講師増員にて定員を増員する場合あり)

※ リフレッシュは先着順となります。

※ 最低催行人数に満たない場合は、4.の項の受講連絡日に連絡します。

14. 申込方法

上記12.該当者で参加を希望する方は、4.の項の申込期間内にホームページよりお申込下さい。

<https://sangakui.jp> (右のQRコードからもアクセスできます)



15. 受講料お支払いとキャンセル規定

(1)振込期限 受講決定者に連絡致します。

(2)振込先 受講決定者に連絡致します。

(3)参加できなくなった場合の受講料の返金について

原則、運営者側の責任により開催出来なくなった場合のみ、受講料をお返しします。

①開催日から15日前 : 支出済経費、振込手数料を除いた額を返金。

②開催日から14日未満 : 支出済経費、振込手数料、キャンセル料を除いた額を返金。

7~13日前 キャンセル料30%

2~6日前 キャンセル料50%

前日および当日 キャンセル料100%

【問い合わせ先】

山岳医療救助機構アウトドアファーストエイド講習会事務局

tel: 090-9514-8110 (平日9時~17時)

e-mail: info@sangakui.jp